



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区

まちかど
政治瓦版

令和3年6月1日号

発行
松本純 後援会
発行責任者
平木 茂6月号
2021年
No.221松本純ホームページ 毎日更新中! <https://jun.or.jp/> ▶ 検索キーワード「松本純」

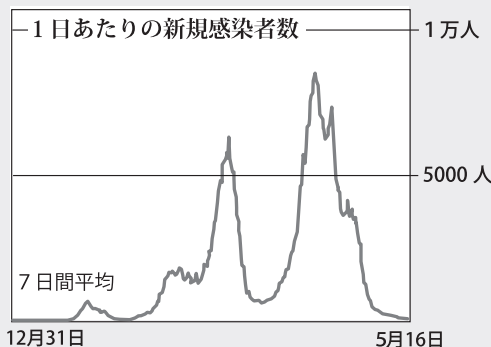
高齢者への「ワクチン集団接種」が始まりました!

予約受付、速やかに 横浜市医師会、看護協会、歯科医師会、薬剤師会も協力

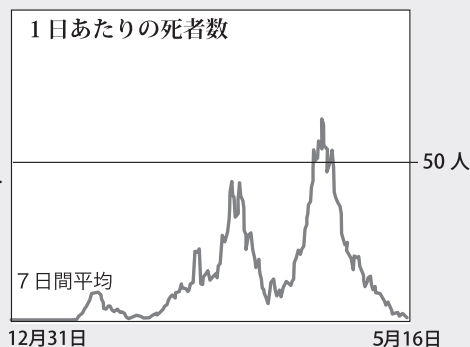
横浜でも新型コロナウイルスワクチンの高齢者への集団接種が始まりました。新型コロナウイルスの最大のリスクは未知であったことであり、ワクチンの普及等により、そのリスクは大幅に改善されます。今回のウイルスですが、高齢者や基礎疾患を持つ人が最もハイリスクであり、高齢者施設等の大規模クラスターが最大の懸念でした。

ワクチン接種の浸透により急速な減少が見られる イスラエルの感染者数・死者数の推移

新たに報告された感染者



新たに報告された死者



すでに、横浜では入所者への「施設接種」が順調に進み、一般の高齢者向け集団接種も開始されています。また、横浜市が直接予約を受け付ける36の医療機関に加え、予約ができる約600の医療機関が公表され、より接種が受けられやすくなっています。電話窓口の混乱等で多くの方にご迷惑をおかけしましたが、医療機関による直接受け付け開始などにより、混乱は解消される見込みとなっています。

今回のワクチンですが、大きく2つのボトルネックがありました。一つはワクチン供給であり、もう一つは接種のための仕組みづくりです。ワクチン供給に関してはファイザー社との追加契約、モデルナ社製ワクチンの承認と追加契約により、ほぼ解消にされました。そして、残る問題は接種のための仕組みづくりでした。接種計画に関しては、医療環境の違いや自治体と医療機関の普段からの協力関係など違いなどにより大きな格差が生まれていました。幸いにも横浜に関しては、自治体の努力に加え、医師会、看護協会、歯科医師会、薬剤師会などの協力により、この部分も解消に向かっていきます。今後も「個別接種」の医療機関については随時追加される予定です。

今回のコロナ禍は、長年医療制度の構築に関わってきた松本にも大きな教訓を与えました。まずは日本の医療制度全体の問題であり、長年感染症のパンデミックが発生していなかったこともあり、感染症予防に対して医療制度が脆弱であること、そして、ワクチンや治療薬の問題に関しては、他国に比べ承認等のプロセスに時間がかかり、非常時に対応できないことです。このため、自国でのワクチン開発ができているのにもかかわらず、他国に依存しなくてははいけませんでした。

誰でも医療が受けられる「国民皆保険制度」とともに、「医療制度の強靱化」が私の政治使命だと考えています。

いま地域で
(人・まち・出来事)

「命を救う」推進力は、医療従事者たちの力強いチームワーク！
【新型コロナワクチンの集団接種が始まる】(中区・磯子区・金沢区)

横浜市の新型コロナワクチンの集団接種が始まりました。磯子区の接種会場の一つ「磯子スポーツセンター」では、午前9時45分のスタート



中区会場「横浜市技能文化会館」



磯子区会場「磯子スポーツセンター」



金沢区会場「金沢地区センター」

よりも早くから、会場入口付近で、数十人の予約済高齢者の皆さんの接種開始を待つ姿が見受けられました。接種の手順は、予診票で健康状態や本人確認を行い、その後メイン会場で医師との問診、問題がなければ看護師より接種を受けます。その際、薬剤師がワクチンの希釈や接種用注射筒への充填を担当します。その後サブ会場で15分程、体調変化などの観察を行った後、問題がなければ帰宅します。集団接種は感染を防ぎ、重症化する命を救うための対策です。その大きな推進力として、医療従事者の皆さんの力強くも献身的なチームワークが印象に残りました。

【2021年4.5月】

松本議員の活動記録

4/15●本会議(法案採決等/災害対策基本法改正案等2件)

16●本会議(法案等採決等/子ども・子育て支援法等改正案等4件)

20●財務省主計局・宇波弘貴次長、一松旬主計局説明/医薬デジタルトランスフォーメーションについて

●日本製薬工業協会・中山謙治会長要請

23●厚生労働省医薬・生活衛生局・安川孝志薬事企画官説明/規制改革について

27●厚生労働省医薬・生活衛生局・田中徹監視指導・麻薬対策課長説明/医療用覚せい剤の取り扱いについて

5/6●厚生労働省・山本史審議官説明/薬事について

11●本会議/法案等採決等/健康保険改正案等7件)

13●厚生労働省・大島一博官房長説明/長濱検疫所について

18●内閣府・村手聡審議官(防災担当)説明/令和3年度版防災白書について

●本会議/(法案等採決ストーカー行為等規制法案等7件)



4/20 吉田町町内会・名店街会役員会・市況研究会●今井大町内会長の開会挨拶の後、吉田和正名店街会会長より「見通しが立たない状況だがイベント開催の予定は組んでいきたい」とご挨拶がありました。



5/9 根岸八幡神社崇敬会大祭●今年はコロナ禍により式典のみの開催となりました。宮崎常嘉宮司により恒例の家内安全、諸願成就、交通安全などの祈願の他、今年は特に疫病退散が祈願されました。



5/15 伊勢山皇大神宮例祭・創建150年記念奉祝大祭●感染防止を工夫したお参りの中、松本小寿恵宮司により令和3年の平和と地域の安寧、コロナ終息により普段の生活に戻る祈願が行われました。



5/15 瀬戸神社例大祭・神事●瀬戸神社本殿で斎行された神事はコロナ禍により簡素化され、続いて行われた御魂を琵琶島神社に移した(お渡り)神事では、佐野和史宮司のお神楽がしめやかに奉納されました。

永田町日記

松本純は、薬・ワクチンの新時代を進めます

「バイオ医薬品」支援体制のさらなる確立へ

現在、薬やワクチンが大きく変わりつつあります。従来の化学薬品からヒトゲノムやバイオなどを利用した生物学的薬品に新薬の主力が変化しているのです。この環境変化に対応するため、平成29年(2017年)、松本は「日本創薬力強化プラン(緊急政策パッケージ)」を政府に要望し予算化されました。また、平成27年(2015年)には、松本を会長とする超党派の議員連盟である「バイオシミラーの使用促進を応援する議員連盟」が発足され、バイオシミラー医薬品の支援体制を構築しています。

活動を続ける中で様々な問題点が明らかになり、これを改善する必要性がうまれています。改めてこの問題点に対処するため、「バイオシミラーの使用促進を応援する議員連盟」を母体とする「バイオ新薬の開発及びバイオシミラーの使用促進を応援する議員連盟(仮称)」を発展的に発足させました。これは対象をバイオ医薬品全体に広げるものであり、民間企業のバイオ創薬、製薬を支援するためのものです。

※バイオシミラーとは、特許切れしたバイオ後発薬です